



(611 号付録)

京都版 第 467 号

2025 年 5 月 15 日

治安維持法犠牲者

国家賠償要求同盟

京都府本部

〒604-8832 京都市中京区

壬生下溝町 51-41

TEL : 075-312-8787

FAX : 075-325-3863

E-mail

Info@kokubai-kyoto.com

ホームページ

<https://kokubai-kyoto.com>

治安維持法 100 年 全国一斉宣伝行動日

京都府本部の 6 人が参加しての四条大宮交差点・嵐電
四条大宮駅前でのハンドマイク宣伝・請願署名活動

100 年前の時代に『侍タイムスリッパー』になったら!?

「第 48 回日本アカデミー賞の最優秀作品賞を受賞した『侍タイムスリッパー』という自主製作映画が、今評判になっています。

幕末の佐幕派と討幕派のサムライが戦いの最中に、時代劇映画の撮影所にタイムスリップし、「切られ役」になり切っちゃーうという時代劇愛が半端じゃない自主製作映画ですけど、撮影現場は、嵐電の太秦の撮影所もこの近くです。

ところで、幕末から現代へのタイムスリッパーの逆の場合だったらどうでしょう。今日、4 月 22 日は、治安維持法が公布されて 100 周年にあたりますが、そんな時代に。戦争嫌いなあなだが、タイムスリップしたら、どうなるでしょうか。プロレタリア小説家の小林多喜二のよう

に拷問で虐殺されますかもしれません。

戦争反対などを口にしようものなら、即特高警察に検挙され、拷問され、そんなことを考えたことがなくても「国体の変革」をたくらみましたと自供させる法律です。

時計の針が逆まわりしているみたいに「新しい戦前」状況

今、国会で『日本学術会議法の改定法案』が審議に入ろうとしています、これまでの学術会議が軍事研究を拒否してきたので、軍事研究をやる組織にしようという「これまでの学術会議を解体する法案」なのです。そして、軍事研究をするのだから「守秘義務」ありとか、セキュリティクリアランスとか、思想調査をしつかりやれと言い出しているのです。

この法案の推進勢力の人が、100年前の治安維持法の時代にタイムスリップになったら、特高警察や思想検事の協力者になるんじゃないですか。総力戦体制に協力しないものは「非国民」だときめつけるのです。

そういう点で、100年前の「治安維持法」は本物の民主主義の守り手か、戦争準備勢力かをみわけ「試金石」ともいえます。

私たちが、毎年、毎年、「治安維持法の犠牲者に国は謝罪し名誉回復すべし」と国会請願をしているのは、二度と戦争をさせないための「試金石」の活動なのです。

戦前の「天皇主権」という国体から、「日米同盟ファースト」という新しい国体

とところで、『侍タイプスリッパ』の安田淳一監督が授賞式で、自分の父親と時代劇映画の切られ役・福本清三さんに見せたかつ

たといったそうですが、安田さんは2017年にも「ごはん」というコメ作りの苦勞の自主製作映画をとっているんです。

政府の減反政策や農村集落の営農環境の激変などを問題提起するものでした。実は、安田さんのお父さんはムシロ旗たてて頑張る農民運動のリーダーで、減反政策でコメを作るなの役所に家畜の餌米ならいいだろうとかけあったり、実験にも田んぼを貸したり、田植えや稲刈りのボランティア運動の組織者をしたり、夏場の草取りは合鴨農法でやつたり色々実験をされていました。

今、おコメの値段が上がって「令和の米騒動」といわれますが、コメ作りの資材高騰で30キロ当たりのお米をつくっても700円から800円の赤字とか。そこに、アメリカのトランプ関税政策で自動車の重課税にアメ

リカからコメ輸入して日本の農業を人身御供にしようとしています。日米同盟ファースト、ゆってみれば日米同盟は新しい国体だ、国体に背くものは非国民と云いかねない政治状況が強まっています。つまり、戦後版の治安維持法体制がつくられつつあるのではないでしょうか。

平和を求める言論の自由や表現の自由や大学の自治など抑え込むために、共謀罪法や経済安全保障法など国民監視体制がつぎにつくられてきています。治安維持法体制の復活を許さないためにも、治安維持法は「戦争遂行の地ならし」だったことを国に誤らせましょう。

生かそう憲法・守ろう9条
5・3憲法集会 in 京都
戦争ではなく

平和な暮らしを



本田由紀東京大学大学院教育学部研究科教授

憲法施行78年となる5月3日、生かそう憲法 守ろう9条 5・3憲法集会 in 京都が円山音学堂で開かれ、2000人を超える市民が参加しました。

憲法9条京都の会代表世話人の岡野八代同志社大学大学院教授は、初めのあいさつで人間の命を守ることこそが政治の役割だと訴えられる政府を誕生させる事が大事です。

憲法の精神を世界に広めるこ

ところが、80年間戦争を免れてきた私たち責任ですと述べました。

次に新社会党京都本部、社民党京都府連合、日本共産党、れいわ新選組の各代表の来賓の挨拶。

講演は、本田由紀東京大学大学院教育学研究科教授の「憲法の理念と日本社会の課題」と題して。

本田氏は、憲法と今の日本の社会が、いかにかけ離れているかを具体的にあげ、これらの背景にあるのが、癒着と腐敗の自民党政治じゃないですかと訴えました。

すでにある違憲事例として、群馬県桐生市での生活保護行政を指摘。

「同性婚を認めないのは違憲」との司法判断がでており「婚姻の自由」を認めるべきだと。

性犯罪やハラスメント、選択



会場前での府本部の宣伝・署名活動

的夫婦別姓がいまだに実現していない、日本学術会議法案における学問の自由の侵害などに触れ、世界に誇れる理念を掲げる憲法を有しているにも拘わらず憲法の理念が実現されていない。政治を正し、憲法の理念実現を目指すべきと訴えました。

集会終了後、市役所までアピール行進をしました。

毎日新聞に掲載

原田完府本部会長のインタビュー

治安維持法 公布100年

性的拷問 信念は曲げず

民主社会源の女性たち

戦前、治安維持法が公布された。4月22日で100年となった。65年に昭和憲法制定されるまで国府人権上が戦争された。戦時中のみで死した人は100人以上とされる。戦時中(昭和14年)に、多くの国民が犠牲された。戦時中(昭和14年)に、多くの国民が犠牲された。

原田完府本部会長は、戦前、治安維持法が公布された。4月22日で100年となった。65年に昭和憲法制定されるまで国府人権上が戦争された。戦時中のみで死した人は100人以上とされる。戦時中(昭和14年)に、多くの国民が犠牲された。戦時中(昭和14年)に、多くの国民が犠牲された。

原田完府本部会長は、戦前、治安維持法が公布された。4月22日で100年となった。65年に昭和憲法制定されるまで国府人権上が戦争された。戦時中のみで死した人は100人以上とされる。戦時中(昭和14年)に、多くの国民が犠牲された。戦時中(昭和14年)に、多くの国民が犠牲された。

毎日新聞 2025年4月22日(火) 記事

4月22日の「戦前の治安維持法交付100周年」にあたり、全国紙が国賠同盟京都府本部の原田会長の実母の体験取材したことは画期的です。「エロテロ」とも言われた性的拷問の実態を告発した内容です。戦前の家父長制度の中で、女性は参政権が有りませんでした。

今、夫婦別姓制度の実現が社会問題になっていますが、家族制度を守るを口実に女性差別問題に通底する究極の「女性いじめ」を特高警察は常套手段としていました。

支部便り

京丹後支部

副支部長 森 勝

国会請願署名については、4月の三役会議で請願行動日まで、1ヶ月余りとなった現在、まだ未署名の同盟員が33%も残っていることを重視。

4月22日(治安維持法公布日)の全国一斉行動日に「全同盟員が署名する!」の目標達成に向けて役員を先頭に行動しました。その結果、87%の同盟員が署名を行い1288筆(目標2000筆)となりました。

「まだ署名していない、私だけが直ぐにします」署名して持っている。去年の署名もある。誰も取りに來ない。」等の声があり今後の活動の反省点となりました。

した。

合わせて2024年度の会費は全て集めることができました。5月1日、第96回丹後統一メーデーに参加し、3分間スピーチで治安維持法施行100年の年でありその実態についてアピールを行いました。また、5月11日の「第70回京都解放戦士の碑合祀追悼祭」には4名が参加し、志なかばで亡くなられた先輩同盟員の遺志を引き継いで頑張ることを誓いました。合わせて「追悼募金」にも取り組みました。この後は、支部総会(日時未定)に向けて準備を進めます。

宇治洛南支部

支部長 山崎恭一

南山城統一メーデーの会場です署名に取組みました。

藤原事務局長が、のぼりや署

名用紙を準備して、役員がメー

デー参加者に署名を訴えました。

昨年は、雨でしたが、今年は好天に恵まれて開会までの短い時間に23筆が集まり、「100年目ですか」「この署名は初めてかな」「世界では賠償してるんだ」などのやり取りがありました。

また、9日午後6時から近鉄大久保駅で新調した「青年を再び戦場に送らない」という横断幕を掲げて駅頭宣伝。



南山城統一メーデー会場での宣伝

宇治・城陽・久御山を中心に9名が参加して、4人が交代で弁士を務め、治安維持法100年、急増する軍事費、祝園弾薬庫の大増設など緊迫する情勢と平和への転換を訴えました。16日には近鉄新田辺駅での宣伝を予定しています。取組み数を増やしたこともあり、この数年あまり集められなかった署名は今年約320筆になりました。



近鉄大久保駅頭宣伝